

## 座談会

### 午後二時からのティータイム

宇都宮とよ

大野道夫

原口嘉代子

堀 亜紀

平成三十年一月十四日 池袋産業フラザ

**大野** 東京歌会の新年会で、宇都宮さんの「心の花」の選者引退のセレモニーがありました。選者は何年なされたのですか。

**宇都宮** 二十五年くらいでしょうか。幸綱先生がオランダにいらっしやっていた時にお手紙を頂き、今泉進さん、晋樹隆彦さん、小紋潤さんの三人のお部屋に私が入って……、心許ないことでした。選者の特選とい

うのはまだなくて、幸綱先生の人集の選などを指針にして、一生懸命やりました。

**大野** 宇都宮さんの選歌のポイントはどういうところでしょうか。

**宇都宮** どうしても言いたいという作者の心に触れることが一番だったようです。それから、読んでおもしろい！と思ったものをまず手許に置きます。連作的なおもしろ

さ、比喩とか技巧の成功しているものがある目につきますね。知らない言葉を知っている人がいたりすると慌てて辞書を調べたり、ずいぶん勉強になりました。

作品を読むときは精神的に緊張しました。汚してはいけない、ミスを訂正したか、よい表現の方法はないかなど、できれば完璧に仕上げたいという気持ちからでしょ